

評価指標

1 基本施策（別紙参照）との適合	
(1)目的設定の妥当性	・ 事業の目的が該当する基本施策の目的に沿っているか
(2)目的の達成度	・ 基本施策の目的が取組により達成されているか
(3)他の基本施策への波及	・ 該当する基本施策だけでなく、他の基本施策の考え方にも沿う取組を行うなど、事業の広がりが見られるか
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合	
(1)市民主体	・ 市民が主体となる文化芸術活動の活性化に寄与しているか ・ 多くの市民が楽しさやおもしろさを共感できるよう、文化芸術の間口を広げ、また、敷居をなくすなど、市民の日常的な活動・行動を促しているか
(2)こども・若者	・ こどもや若者が文化芸術に親しみ、また、創造性を育むことができる場や機会を創出しているか
(3)領域の広がり	・ 様々な価値観や多様性に触れる機会を創出しているか ・ 文化芸術の領域の広がりや新たな魅力ある文化芸術の創造に寄与しているか
3 事業のねらい	
(1)設定の妥当性	・ 事業のねらいの設定が妥当かどうか
(2)達成に向けてのアプローチ	・ 事業のねらいを達成するためのアプローチが妥当かどうか
4 市民との関わり	
(1)満足度	・ 市民が事業のねらいを正確に受け取り、ねらい通りの効果が得られたか ・ 市民からまた参加してみたい、また運営に関わりたいという意見があったか
(2)周知度	・ 事業に合った効果的な広報を行っているか ・ ターゲットとした世代や所属などからの参加や初めての参加はあるか
5 効果	
(1)活動の活性化	・ 文化芸術の担い手となる人材の育成や千葉の魅力ある資源や人材の活用につながったか ・ 文化芸術活動の場の提供や支援の充実が図られたか ・ 多様な主体との協働、連携の促進が図られたか
(2)費用対効果	・ 達成度や満足度、参加者数などを総合的に見て、事業が費用相応もしくはそれ以上の効果をもたらしたか ・ 工夫により、収入の確保や費用の抑制が可能ではなかったか

※2 次評価の参考とするため、それぞれの評価指標につき 4 段階で点数を付ける。

（4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し）

(基本施策)

【基本施策 1】文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」	
(1)多様な文化芸術イベントの開催	・多くの市民が気軽に文化に触れる機会の充実 ・メディア芸術などの新しい分野を取り入れた事業の推進
(2)参加・体験活動の推進	・身近な場所で参加・体験ができる文化活動の充実 ・学校等における文化芸術活動の充実
【基本施策 2】文化を創造する人材を「育てる」	
(1)文化芸術活動を楽しむ市民への支援	・文化芸術活動への参加促進 ・活動の活性化への支援 ・発表の場の提供
(2)芸術家の発掘と育成	・顕彰制度の充実 ・新進芸術家への支援の充実
(3)文化芸術活動を支える人材の育成	・アートマネジメント人材等の育成 ・ボランティア活動の活性化
【基本施策 3】文化芸術を育む場を「支える」	
(1)文化芸術活動の場の充実	・文化施設の効果的な運営と機能の向上 ・文化施設以外の場の活用 ・文化施設の再構築に向けた検討
(2)活動しやすい環境の整備	・団体が行う文化芸術活動への支援の充実 ・個人が行う文化芸術活動への支援の充実
(3)伝統文化の継承・発展	・伝統文化の理解促進 ・伝統文化の保存・継承
【基本施策 4】千葉文化の担い手を「つなぐ」	
(1)情報の効果的な収集・発信	・戦略的な広報の実施 ・文化芸術に係る拠点機能の強化
(2)多様な協働・連携の促進	・交流の場の提供 ・民間との連携や企業メセナ活動の促進 ・大学等との連携
【基本施策 5】文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」	
(1)魅力ある資源の活用	・地域・歴史的資源等の千葉市に由来する文化の発掘・活用 ・新たな若者文化等の発掘・活用
(2)魅力ある人材の活用	・千葉市ゆかりのアーティスト等を活用 ・文化芸術活動を支える人材へ活躍の場を提供